

化学工学会第80年会

化学工学会の年会はさらに発展、充実します！

2015年3月19~21日

芝浦工業大学 豊洲キャンパス

www3.scej.org/meeting/80a/

化学工学会の年会は2014年3月に岐阜大学で実施された第79年会から大きく変わりつつありますが、来る2015年3月に芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催される第80年会ではさらに発展、充実いたします。学界、官界、産業界の皆様におかれましては、奮ってご参加ください！

化学産業技術フォーラム

テーマを絞ったフォーラムで、最新の情報をコンパクトにお届けします。会員有志によって発案されたテーマを取り上げた公募枠セッションもご期待ください。

国際シンポジウム

全講演が外国語で実施されるシンポジウムです。2014年度アジア国際賞受賞者の受賞記念講演を含みます。

男女共同参画委員会企画

「女性セッション」

化学工学分野で活躍されている女性技術者にご講演いただき、男女共同参画のさらなる充実に向けて議論します。

産業セッション

産業界会員の発意によってテーマ設定されたセッション群からなる新しい取り組みです。産業界が今何を考えてどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。詳細は本紙裏面をご覧ください。

福島問題委員会企画

「震災復興促進と学協会連携」

他学会および当学会の福島原発収束に鋭意対応されている委員会の方を招聘し、対応の状況を講演いただくとともに、学会の垣根を越えた連携を視野に入れ、産および学の立場から客観的な指針の提示が可能な探ります。

学生賞

ポスターセッションでは厳正な審査のうえ、優秀な発表(学生)に対して学生賞を授与します。表彰式も本大会内において実施します。

一般講演発表分野

【基礎物性】

【粒子・流体プロセス】

【熱工学】

【分離プロセス】

【反応工学】

【システム・情報・シミュレーション】

【バイオ】

【超臨界流体】

【エネルギー】

【安全】

【エレクトロニクス】

【材料・界面】

【環境】

【広領域】

参加費が改定されました。

表上段は事前参加登録料金、()内は当日参加料金です。
懇親会参加費が安くなり、ご参加いただきやすくなりました。

	大会参加費 会員：不課税 会員外：課税税込	懇親会参加費 課税税込
正会員 海外正会員 海外連携会員	10,000円 (12,000円)	5,000円 (7,000円)
シニア会員	6,000円 (8,000円)	3,000円 (5,000円)
教育会員	5,000円 (7,000円)	5,000円 (7,000円)
永年会員	5,000円 (7,000円)	3,000円 (5,000円)
学生会員 海外学生会員	5,000円 (7,000円)	3,000円 (5,000円)
法人会員に属する社員 懇話会会員 部会個人賛助会員	13,000円 (15,000円)	5,000円 (7,000円)
部会法人賛助会員に 属する社員	16,000円 (18,000円)	5,000円 (7,000円)
会員外	25,000円 (30,000円)	5,000円 (7,000円)

公益社団法人化学工学会第80年会

産業セッション

産業界がリードする化学工学の未来
—今日の「夢」を明日の「日常」に変える—



2015年3月19日 13:00~

芝浦工業大学 豊洲キャンパス

www3.scej.org/meeting/80a/

第80年会の新しい取り組みとして「産業セッション」を実施します。産業界会員の発意によってテーマ設定されたセッション群、さらに総括講演、そしてポスターセッションを併設した名刺交換会を行います。今、産業界が何を考えどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加ください。

※参加いただくには大会参加登録が必要です。

**要旨集(冊子;無料)を
お配りします!**
(「産業セッション」のみ)

プログラム概要

セッション | 13:00 ~ 17:00 |

忘れてはいけない単位操作

— 実用攪拌技術 — **主な対象: 生産技術担当若手技術者**

化学産業で多用される攪拌技術について、装置メーカーや化学企業の前線の方々から、設計、運転の思想、適用事例や勘所などを発表頂き、現場で遭遇する様々な課題に対する解決のヒントを提供頂きます。

現場力の維持向上と安全確保の取り組み

主な対象: 生産担当者

現場で安全を確保するための組織作り、仕組み、マネジメント、社員教育等の取り組みや、事故を未然に防ぐための対策について事例発表をして相互理解を深めます。

産学官コラボレーションによる新たな価値創造

— 産学官連携による装置やプロセス開発事例の紹介 —

主な対象: R&D 担当者

「開発型企業」が産学官連携での研究開発を推進し、学術間の融合も含めて、コラボレーションによる新分野での事業化や製品化を達成した事例を「新たな価値創造」として紹介します。

新産業域に見る技術イノベーション

— これからの日本を一步進める技術領域 —

主な対象: R&D 担当者

新興国の台頭、少子化、産業拠点の海外移転など、日本の産業構造の転換が求められる情勢の中、新産業領域の創出は次世代の存続する発展に不可欠です。今回は輸送機械、農業、環境、化学材料の各分野から化学工学を起点とした最先端の技術を選んで一望し、次世代に希望の持てる化学工学の姿を模索します。

化学関連産業の経営課題シリーズ

— シェールガス・オイル革命の
我が国化学産業への影響(PART II) —

主な対象: 経営層、管理者層

国内生産だけを前提とせず、グローバル拠点での生産、エネルギー・原料多様化への対応、革命がもたらす新たなビジネスチャンスや反発など多角的視点から我が国化学産業への影響を議論します。

総括講演 | 17:00 ~ 18:00 | 交流棟大講義室

日産自動車における電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)の開発と実用化の歴史(仮題)

日産自動車(株)総合研究所EVシステム研究所長 森春仁 氏よりご講演いただき、周辺産業に及ぼす影響についても考えます。

ポスターセッション&名刺交換会 | 18:00 ~ 20:00 | 交流棟大講義室前ホワイエ

企業における攪拌技術事例紹介

企業における現場力の維持向上

あなたが直面している業務上の課題を「解決するためのヒント」が得られます。産業界同士で気楽に議論できる場としておりますので、是非お越し下さい。